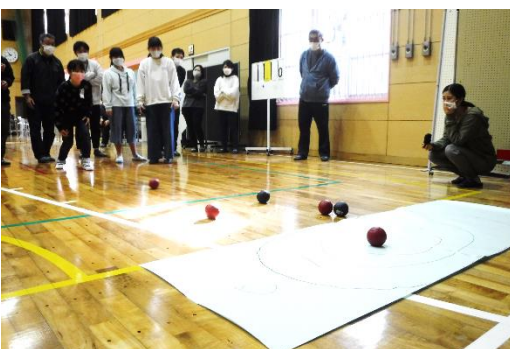


12月11日(土)ギネス大会が開かれました。ギネス大会は、保護者・地域の方等を招待するゲーム集会です。企画も運営も子供たちが行いました。子供たちは、司会・進行をしっかりとつとめながら、自らも楽しむことができました。各ゲームの優勝者には手作りのメダルや賞状が渡されました。会場となった体育館には、参加者の明るい笑い声が響きました。また一つ、子供たちは成長しました。

ギネス大会



子供たちは、子供もおとなも、楽しめて、力の差が出ないようなゲームを企画してくれました。例年、やっている缶積みや豆移しなどは今年も盛り上がりました。

パラリンピックで、多くの人に知られるようになった「ボッチャ」を、宗像市の文化・スポーツ課から借りて行きました。パラリンピックに採用された競技だけあって、年齢に関係なく楽しめるものでした。大逆転の可能性もあるため、最後までハラハラドキドキしました。

給食委員会の発表

ギネス大会当日、朝の会で給食委員会の発表がありました。「魔法の食べ方」という紙芝居の発表です。

苦手な食材を、どうしたら食べることができるようになるか、悩んでいる男の子の話です。地島小学校は、完食が基本ですが、それでも時々苦手な食材が出ます。そんなときに、この「魔法の食べ方」で、少しずつ好きになるといいなと思います。



よしだ大根店



生活科の学習で、中村正秋さんに指導していただいた冬野菜：大根が立派に成長しました。吏玖さんは大きく成長した大根を手にとりこり。この大根をどうするか吏玖さんと

七田先生で考えた結果、「ギネス大会で売る」に決定しました。当日、体育館入り口で販売したところ、1本50円の大根はあっというまに売り切れました。お買い求めくださったみなさま、ありがとうございました。